

第4次むつ市食育推進計画（素案）に対するパブリックコメントの結果について

1 意見募集期間

令和5年1月10日（火）から2月8日（水）まで 30日間

2 意見提出者数及び意見件数

1人の方から2件の意見提出がありました。

■提出状況

提出方法	人数
直接提出	
郵送	
ファックス	
E-mail	1人
合計	1人

■内容別の件数

項目別	件数
1. 計画策定の趣旨	
2. 「食」をめぐる現状と課題	2件
3. むつ市が目指す食育の方向	
	2件

3 提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	意見の概要	考え方
1	<p>2-2-（3） 【小中学校の食育活動の取り組み】 食育に関する意識・関心を増やすために、シンプルに子ども自身で調理する機会を増やすことが必要と考えます。 教育は、実際に手を動かして、肌で感じて、何かを生み出すことでその効果が高まると考えるからです。 46ページに記載される「青森食命人による調理講座」に付随して、食育について体系的に指導ができる法人または個人（食育アドバイザー保有者等）に教育の一部を委託して調理実習の回数の増加を検討することを提案します。 加えて、安全管理の観点で、スタッフとして地域の方にも参加してもらい、教諭の負担軽減も考慮することが必要と考えます。</p>	<p>御意見、誠にありがとうございます。食育推進において、調理する機会を増やすことは非常に大切なことであると考えます。学校では、文部科学省「食に関する指導の手引き」等により、体系的な食育活動・体験等の授業に取り組まれております。 今回の御意見を参考に、教育委員会や各学校と連携し、教諭以外の食育指導者等の育成についても検討を重ねながら、子ども達の食に対する意識・関心を増やせるように食育推進を充実させてまいりたいと思います。</p>
2	<p>2-2-（3） 【小中学校の食育活動の取り組み】 スポーツにおける食事の重要性は、国民全般に知れ渡っていますが、炭水化物に過度のマイナスイメージが先行するなど独自に学んだゆえに誤った認識に陥ってしまうケースもあると思われます。 部活動に勤しむ子どもたちは、少しでも成績を上げようとモチベーション高く食事に向き合う傾向にあると思います。 そこで、栄養管理に特化したスタッフ（スポーツ・アスリート系の資格保有者等）を自治体で雇用して、希望するむつ市内の部活動等と連携してスポーツに取り組む子どもたちに正しい食事の知識を付与する等、スポーツを通じた食育を充実させる取り組みを提案します。</p>	<p>御意見、誠にありがとうございます。スポーツを行う子ども達の食事の摂り方は重要となり、スポーツ等指導者が食事についてアドバイスしている場合もあるようです。 まずは、基本的な栄養バランスのとり方や適正体重の維持等を普及しつつ、地域の要望を把握しながら、スポーツを通じた食育推進の充実を図っていきたいと思います。</p>